

県内経済の動き

概況

〔2月～4月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（2月）は5カ月連続で前年同月上昇、通関輸出額（3月 細島港）は前年同月比減少に転じた。百貨店・スーパー販売額（3月 全店ベース）は16カ月ぶりに前年同月比増加した。「軽」を含む乗用車の販売台数（4月）は3カ月ぶりに、新設住宅着工戸数（3月）は6カ月ぶりに前年同月比増加した。公共工事（4月 保証対象請負総額）は前年同月比増加に転じた。有効求人倍率（3月：1.46倍）は前月比▲0.01ポイントとなった。4月の企業倒産は前月比横ばいの2件、負債総額は前月比1億94百万円増加し、2億45百万円となった。

県内経済は、個人消費関連の指標の一部が好転し、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。